

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

新年度スタートにあたって 荻窪地域区民センター協議会会長 檜枝光太郎



檜枝光太郎会長

昨年度、地域課題解決のための防災フォーラムでは、町会の防災担当の方々にお集まりいただき、町会の連携を促進する取り組みをしました。また、食を通じた多世代の交流を図る地域交流会「こみゆに亭」を開始しました。このように、地域で活動する団体や個人を結びネットワークを作り、地域の活性化に役立つよう取り組んでいます。もちろん、センター祭などのイベントや質の高い講座・講演会も、地域の方にお楽しみいただけるようにこれまで以上に頑張っていきます。

これらの活動を通じ、区民センター協議会の目的である「良好なコミュニティを形成することにより、住みよいまちづくりを進める」ことを推進していきます。引き続き、地域の皆さまのご支援をお願い申し上げます。

2020年度に予定する 主な行事・イベント・講座など

- ★健康講座・教養講座など各種講座を多数開催します。
- ★さいえんす縁日・野外観察会など学童向けもあります。
- ★開催案内・開催報告はHPや広報紙に掲載します。

※写真は2019年度のもです。

地域ネットワーク



地域懇談会

お祭り



おぎくぼセンター祭

芸術・芸能鑑賞



地域ふれあいマチネコンサート

多彩な講座



リズム&ストレッチ



地域交流会「こみゆに亭」



本天沼集会所まつり



講談鑑賞会



荻窪の歴史散策

これからのスケジュール

4月

- 4日(土)～5月16日(土)
当センター玄関ロビーでのパネル展示
「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」
- 17日(土) 正しく学ぼう！ラジオ体操
講師：鋒立和子
(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士)

5月

- 2日(土)「新緑・素人落語寄席
(都家西北他杉並江戸落語研究会会員)」
- 8日(日)「荻窪地域区民センター協議会定期総会
9日(月)「南荻窪の町歩き」
- 9日(月) 講師：松井和男「荻窪の記憶プロジェクト」
23日(土)「オリンピックに向けて
簡単な英語でもてなし講座」
講師：石川玲子・小川由紀・小楠千佳
(杉並区英語指導助手)
- 24日(日)「さいえんす縁日」
- 26日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.345 6月7日号発行

6月

- 3日(日)・17日(土)・24日(金)「リズム&ストレッチ
講師：後藤鈴香(健康運動指導士)」
- 13日(土)・14日(日)「おぎくぼセンター祭」
- 19日(土)・26日(土)・7月10日(日)「ハーマニーを楽しむヴォイストレーニング」
講師：安藤操(ヴォイストレーナー)

7月

- 14日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.346 8月9日号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は
荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先：●事業企画部 ●地域交流部
●広報部 ●総務部



「ことだま」百選を通じた言葉の教育を推進 杉並区立天沼中学校



このシリーズの第2回は、天沼中学校の水野英利校長先生からお話を伺いました。

★概要

天沼中学校（以下「天中」）は、1947年の創立、3年前には70周年を迎えました。在籍する生徒数は現在292名、9学級からなっています。校舎は、四面道から日大二高に向かうバス通りから少し北に入った本天沼の住宅地に立ち、広々とした運動場と体育館をもっています。教育目標には「自主、自律、共生」を掲げ、目指す学校像は「共に見て共に考え共に育む、地域と協働する天沼中」です。それを地域で支えているのが、PTA経験者や地域ボランティアからなる学校支援本部（2007年に発足）と地域運営学校として教育方針決定などに参画する学校運営協議会（2009年に設置）となります。

★「ことだま」学習

天中といえば、有名な「ことだま」学習があります。全校で「ことだま百選」の暗唱を実施しています。これは「言葉こそ人間関係の基盤」、「よい言葉はよい人間関係を育む」という教育観に基づき、和歌、俳句、漢詩、現代詩、小説などから100の詩歌や文章を選び出し、声に出して暗唱できるまで学習し、最後は検定を受け、地域の大人たちにも発表するプロセスで「ことだま百選」です。英語の世界から採った英語版[Kotodama 100]を使った学習も始まっています。相当の努力が必要でも表彰があり、校内で人気があるとのこと。在校中はたとえ苦闘したとしても、卒業生は後になってからの有難みを感じているようです。日本語の方の「百選」は講談社から出版されており、我々もひもどくことができます。



本になった

★特色ある6つの教育活動

- ①フレンドシップ（1年生になつてすぐ参加する「友達づくり」の宿泊行事があります。）
- ②ボランティア（地域のイベントなど各種活動に参画し共助の精神を醸成、中でも杉並区の中学レスキュー隊の中核を形成、全校で80人規模は杉並区でトップ。）
- ③天沼検定（「ことだま百選」の学習と暗唱を通じた「天沼検定」の実施。）



天中レスキュー隊



街頭募金活動

- ④天沼郷中（あまぬまごじゅう）（薩摩藩での青少年教育に做った呼称。上級生と下級生が一緒になって運動会での応援団形成、協同競技、道徳科目での相互議論、英語授業での教え合いなどを通じ、リーダーとなったときの自覚と機能発揮、フォロアーの役割などを学習。）
- ⑤食育Do!（成長期の生徒にとって食事の大事さを学び、食材の産地や調理に関する認識を高めること、残さず食べる省資源の発想や食事のマナーも身に着ける。）
- ⑥読書活動：AKAの110冊（天小、沓掛小と連携した小中一貫教育として9年間で読む計画的読書の実践。）
この他、地元の事業所で受け入れてもらい、実務を経験する「職場体験」なども授業に組み入れています。

★外部講師も加わる特別授業

外部講師を招いての特別授業も年間で行われています。最近力を入れている「いのちの教育」では、「誕生学」、「がん教育」、「臓器移植」をテーマに、医師・専門アドバイザーから生と死を見つめる授業が行われています。



質問に答える初木選手

また、本年開催の東京オリンピック・パラリンピックとの関係で、2月6日には天中の卒業生でサッカー女子日本代表の初木結花選手が来校して、オリンピック代表への想いを語る講演会と1年生とのフットサル交流会が開かれました。

★水野校長の想い

最後にAI時代に向かって水野先生の言葉が聴けました。「学校教育に不変なことは『心づくり』です。知識や技術がいかに進んでもそれを載せる心がなくては共感も信頼も価値も生み出すことはできないでしょう」、「心をつくって人をつくる」これが重点であるとおっしゃっていました。

杉並区立天沼中学校

住所:167-0031 東京都杉並区本天沼3-10-20 電話:03-3390-0161
ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/

講座紹介

オリンピックに向けて 簡単英語でおもてなし講座

オリンピックなどで道に迷ったり、お土産に悩む外国人を完璧に案内することは無理でも、声をかけてわかる人に取りつぎたい！話せる英語でコミュニケーションをとれば大成功！

現在小学校で英語授業に携わっている指導助手のお三方とともに英語を使う楽しさを感じながら「まずは話して」みませんか？（持ち物：筆記用具）

※受講を希望する方は、本紙P4の「講座などのご案内」を読んでお申し込みください。

★日時：令和2年5月23日・30日（各土曜日）午後1時30分～3時

★場所：荻窪地域区民センター第1・2集会室

★講師：石川玲子・小川由紀・小楠千佳（杉並区英語指導助手／NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク所属）



「桐の木横町」

「阿佐ヶ谷文士村」という言葉があるが、その実態は「荻窪文士村」でもある。文士の多くが、荻窪駅北口の天沼方面に住んでいたからだ。その「荻窪文士村」を象徴する場所に「桐の木横丁」がある。井伏鱒二は『荻窪風土記』に、こう書いている。

「現在の天沼三丁目二番地、三番地あたり、伊馬君のうちや太宰君たちのうちには、家主が一軒に一株づつ桐の木の苗を植えるのが作法だとされてゐた。私は伊馬君のうちでも太宰君のうちでも桐の苗木が植えてあるのは見たことがないが、植えても枯らしたのだろう程度に思っていた。ところが『桐の木横丁』といふ芝居が新宿ムーンで大当たりを取つたので、伊馬君や太宰君たちのみる横丁は桐の木横丁と言はれるやうになつた」

劇作家、作家として活躍した伊馬鶉平（春部）は、大学卒業後、天沼に住んだことから井伏と親しくなり、その勧めで昭和6年新宿に誕生した軽演劇場「ムーン・ルージュ」の文芸部員になった。書いた台本は立てつけにヒット。なかでも大当たりしたのが『桐の木横丁』だった。

舞台は東京郊外の横町。大家さんのもつ四軒の貸家には、ニセ医者一家、学威院（学習院のもじり）の先生一家、三人のダンサー、共同生活をする若い男女が住んでいる。これといったストーリーはなく、風刺的な目で見えた横町の日常がユーモラスに描かれる。

これは、大家の奥さん、学威院の先生の家で働く女中サヨ、



ムーンルージュの「桐の木横町」の舞台
新宿歴史博物館刊「図録 新宿の歴史と文化」より転載

ニセ医者 of the 妻いろいろの立ち話。奥さんの関心は、先生の家に頻繁に届け付け届けにある。

奥さん「あのパラソル、今度またお買ひになつたの？」サヨ「いゝえ、お届け物ですの」いう「あれが？ へえ！ どこからの？」サヨ「あれは一昨日……松屋からでしたから、たしか、大宗路さまですわ」奥さん「大宗路つて、あの伯爵の？」サヨ「ええ、貴族院の」いう「貴族院？ ふうん……、学威院の先生つて全くいゝもんだねえ。ねえ奥さま」奥さん「さうですよ。頭の上から足の先まで貰ひ物づくめでね。あれで気がささないのが不思議ですよ」

ちなみに、「桐の木横丁」と呼ばれた小路は、荻窪駅北口前の青梅街道に面したビルの裏にあり、いまは袋小路になっている。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

イベント報告

第41回アート展

特別展示

「日本のオカリナの父・明田川 孝」

2月22日(土)・23日(日)の両日、アート展が開催されました。(来場者、両日で420名)。多くの区民、団体や小・中学生、杉並区障害者団体連合会所属の皆さんから、絵画、工芸、写真、書、俳句など多方面の分野で出品されました。また日本のオカリナの父、明田川孝の制作した彫刻や各種のオカリナ、資料の展示が行われました。なお、今回新型コロナウイルス感染拡大防止のため、催しの規模を縮小のうえ作品展示に限った実施といたしました。



明田川 孝の展示を観る人々



障害者団体連合会所属の方々の作品



絵手紙の数々
(荻窪絵手紙の会)



陶芸作品
(益子陶芸会)



杉並の古民家
(國岡正照 制作)



小・中学校からの作品
(宮前中学校)

開催報告

令和元年度 地域懇談会

令和元年度の「地域懇談会」が令和2年2月1日(土)14時～16時、荻窪地域区民センターの第1・2集会室にて、町会・自治会関係者、高齢者福祉・児童福祉関係者、学校支援関係者などの方々と、当協議会委員・行政担当者など併せて51名が参加し、開催されました。

今回は、従来地域懇談会で実施していた講演・プレゼンテーションは行わず、前半は交流タイ

ム、後半はグループ討議と、参加者ができるだけ互いに会話し、交流が図れるように構成しました。

6班に分かれたグループ討議では各班とも活発な意見交換が行われ、同席された杉並区原田地域課長から「協議会の活動が十分に地域に理解されるように、今後の課題として受けとめていきたい。」と率直な感想が述べられました。



グループ討議風景

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
正しく学ぼう！ ラジオ体操	老若男女を問わず誰でも知っているラジオ体操ですが、正しい動きでできていますか？ 軽快なリズムに合わせて、健康長寿の元になるラジオ体操を正しく学びます。 講師：鎌立和子（全国ラジオ体操連盟公認一級指導士）	4月17日（金）・24日（金） 午前10時～11時30分	30名	200円	4月5日（日）
新緑・素人荻窪寄席	新緑だ。外出しよう。落語を観笑に！ 出演者：都家西北（みやこや せいほく）他、杉並江戸落語研究会会員の方々	5月2日（土） 午後2時～4時 （開場：午後1時30分）	50名	木戸銭 無料	4月12日（日）
南荻窪の町歩き	パネル展「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前 100年の歴史」の理解を深めるため、郊外住宅地として発展した南荻窪を歩き、再発見します。 講師：松井和男（「荻窪の記憶」プロジェクト）	5月9日（土） 午前10時～12時 集合場所：荻窪地域区民センターのロビー	25名	100円	4月26日（日）
オリンピックに向けて 簡単英語でおもてなし講座	中学までの簡単な英語を使って、お土産・道案内などの会話を楽しく学ぶ講座です。（※詳細はP2を参照） 講師：石川玲子・小川由紀・小楠千佳（杉並区英語指導助手）	5月23日（土）・30日（土） 午後1時30分～3時	20名	200円	5月10日（日）
リズム&ストレッチ	音楽に合わせて全身を使って、ウォーキングやストレッチを行います。 講師：後藤鈴香（健康運動指導士）	6月3日・10日・17日・24日 各水曜日 午後1時30分～3時30分	30名	200円	5月17日（日）

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに（一人一枚） ①希望講座名 ②住所 ③氏名（フリガナ） ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛（申し込み多数の場合は抽選です。）

開催案内

第3回 さいえんす縁日

5月24日（日）、「さいえんす縁日」が帰ってきます。会場で見つけた出し物を楽しむ「縁日」です。科学の知識も身につきます。



「ホバークラフト試乗」
「紙ひこうき大会」
「バルーン電話で遊ぼう」
「チリメンモンスターを探せ」
「マヨネーズをつくろう」
など盛りだくさんの体験ができます。

日時：5月24日（日）午後1時～4時

※参加費は体験参加をする方1名につき1日・100円です。
※申込不要。直接荻窪地域区民センターにお越しください。
（協力団体）サイエンスホッパーズ/だがしや楽校サイエンスくらぶ

当協議会のOB会が開催されました

1月31日（金）、天沼陸橋近くの「かふえ&ほーるwith遊」にて、現役8名を含む25名が参加し、OB会懇親会が開催されました。荻窪ゆかりの日本フィルハーモニー交響楽団の解散危機に立ち上がった楽団員の熱き想いを描いた映画「炎の第五楽章」を鑑賞。お招きした日フィルOBのチェロ奏者・奈切敏郎氏から当時の逸話をお聴きしたりしました。



郷土博物館分館 問い合わせ：☎5347-9801

西棟1階展示室 【分館区民参加型展示】

「杉並のスポーツ2020」

～杉並のスポーツの歴史と体育施設～

杉並は戦前期よりスポーツが盛んで、多くの有名選手を輩出しています。

オリンピック・パラリンピックも間近に控える中で、杉並におけるスポーツの歴史、実情をパネルで紹介します。また、それらの活動を支えるスポーツの施設も紹介します。

【開催期間】令和2年2月8日（土）～5月10日（日）

西棟2階展示室 【分館企画展示】

「杉並の高校野球 春夏熱闘の記憶」

～幻の大会から令和の大会まで～

昨夏の甲子園に区内の國學院久我山高校が出場したことは記憶に新しいかと思えます。杉並区からはこのほか3校が過去甲子園に出場しており、その「熱闘の記憶」を展示します。専大附属高校の前身でもある京王商業が出場した「幻の甲子園」にもスポットを当てます。

【開催期間】令和2年2月22日（土）～5月10日（日）

共通

- 場 所：杉並区立郷土博物館分館（杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内）
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）
- 観 覧 料：無料

※5月23日（土）～7月26日（日）に、郷土博物館分館にて、当協議会が関わる「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」を展示する予定です。詳細は次号に掲載します。

※「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX番号：3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

定期総会の 日程

5月8日（金）午前10時～12時 会場：第1・2集会室
議題：令和元年度事業決算報告
令和2年度事業計画案と予算案
その他の事項

委員会の 日程

4月28日（火）午後1時～ 会場：第1・2集会室
5月26日（火）午後1時～ 会場：第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。